

～聞くより“語る”楽しさ～

題材

- 三枚のお札
- へっこき嫁
- ねずみ経

はじめての

読み語り

人の心をやさしく包んでくれる美しく豊かな言葉。
目に浮かぶような情景、想像をかきたてる人の話しことば。
新潟県の昔話を題材とし、朗読と語りの魅力を学びます。

1	6 / 19 (水) ～きこう～	「見附昔話の会ほだあかり」による昔語りをきき“語り”の世界に触れてみます。
2	7 / 3 (水) ～よもう～	加藤博久氏による朗読講習。発声の仕方、間の取り方、多彩な表現力を磨きます。
3	7 / 17 (水) ～かたろう～	目に浮かぶような物語の情景。伝わる思い。ストーリーをふくらませる語りとは。
4	7 / 31 (水) ～かたろう～	自分なりの朗読スタイルを。語り方の個性もまた“味”になります。
5	8 / 7 (水) ～発表しよう～	子どもたちに向け発表。ストーリーの舞台を表現するのはあなたの“声”です。

講師
加藤 博久 氏



朗読家・ナレーター・司会者
イベントプロデューサー

※全5回の連続講座です

■時間 13:30
～15:30

■場所 葛巻地区
ふるさとセンター

■受講料 無料

■定員 10名(先着順)

■申込 葛巻公民館
☎62-0222

1971年「長岡演劇研究会」創設。その後、池端愛子氏に「表現朗読」を師事する。長年、司会、パーソナリティ、ナレーターを務めるかたわら、イベントプロデュース事業を創業。2006年「越後語り座」の旗揚げに参加。2013年朗読集団「つどい「言の葉」」を創設・主宰し、後進の指導にあたる。現在は幼児から児童・生徒の朗読指導や新潟日報社はじめ各種朗読教室の講師を務める一方、自らも「語り」の講話、朗読講演活動を展開している。

協力：見附昔話の会 ほだあかり

昔話の語りや聴かせをしている。見附を中心に活動をしている。

主催：葛巻公民館